

もっと もっと あーとの時間

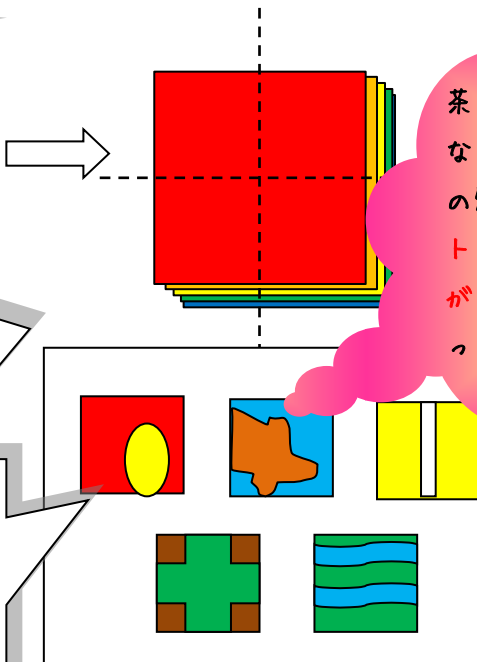
いろ VS いろ

学年始めの色遊びとして鑑賞と表現をコラボした学習です。いろいろな色の美しさに気づくと共に組み合わせの妙、色の配色の分量により変わるイメージの変化に興味を持たせるのによいと思います。ゴールややり方を変えれば、どの学年でも実施可能でしょう。

①色紙を4等分にします。

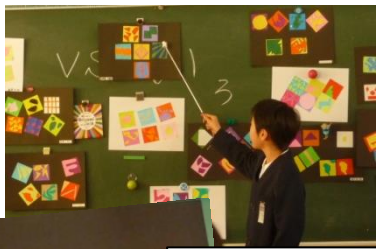
②1/4の大きさで好きな2色の組み合わせでできた色の表情やインパクトなどを楽しめます。好きな形に切ったりちぎったりして色を貼っていきます。

③お気に入りの対決を画用紙や色画用紙にはります。(何パターン貼ってもどのように貼っても自由です。大きさも自由でいいです。)いろいろな鑑賞で色のイメージをひろげます。



茶色と緑の対決は案外合うな、強烈な印象だな…、などの感想を書き込んだり、アートカード形式でみんなで見ながら鑑賞し合ったりしても楽しいです。

どちらの色が勝ったか、負けたか、ドローか…などを話したり、作品や色のイメージなど様々なことについて話し合ったりしました。鑑賞の後詩も書いてみました。



闇と光
闇をつきとばす
ひとすじの光
闇をつきとばして
進んでいく
闇が光を浴びた
光はいつか消えるけど忘れないで
光と闇が合わさった時を
そしてその二つが合わさった時
同じ二つが聞こえる
その二つを感じた者が
光と闇のバトンが
つないでいった